

## Chapter 3 長崎市のまちの可能性とまちづくりのテーマ

この章では、第2章で把握した現状を基に、以下の2点について整理します。

- 長崎市のまちの可能性
- AからEの視点ごとのまちづくりのテーマ

### 3-1：長崎市のまちの可能性

第2章で整理したエリア・ネットワークのポテンシャルを踏まえ、長崎市のまちの可能性を整理します。

#### A 都心部

高次な都市機能が集積する集客拠点

歴史・文化、スポーツ、国際色豊かなまちなみなど多様な魅力

#### B 地域拠点・生活地区

一定の都市機能が各地域の拠点に集積

中央	都心周辺に位置し、自然環境に恵まれる
北部	海・山・川といった自然環境に恵まれ、道路整備で居住地の魅力向上も期待
東部	長崎と諫早中心部の中間に位置し、大学や近隣都市と連携したまちづくりに期待
南部	マリンスポーツ等を体験できる自然環境に恵まれ、道路整備で居住地の魅力向上も期待

中央	世界遺産構成資産、海の駅など
北部	世界遺産構成資産、道の駅夕陽ヶ丘など
東部	ペンギン水族館、長崎街道（シュガーロード）など
南部	リゾート施設、恐竜博物館など

#### C 斜面市街地

居住誘導区域※	地形的制約が小さく、居住を誘導する安全で暮らしやすいエリア
自然共生区域※	空地を活用し、眺望・通風・採光といった斜面地の魅力を活かしたゆとりある居住を許容するエリア

斜面市街地ならではの特徴的な眺望

#### D 都心部と周辺部のつながり

- 公共交通網の発達（公共交通徒歩圏人口カバー率8割）
- 広域道路の整備（西彼杵道路・長崎南北幹線道路、長崎南環状線）
- 光回線の整備

#### E 広域連携

- 西九州新幹線（武雄温泉～長崎）の開業
- 松が枝国際観光船埠頭2バス化
- 広域道路の整備（西彼杵道路・長崎南北幹線道路、長崎南環状線）

多様な暮らし・過ごし方

豊富な観光資源

各拠点につながりがある

広域交通網の充実

※長崎県立地適正化計画で定める区域

### 3-1：長崎市のまちの可能性

#### 多様な暮らし・過ごし方



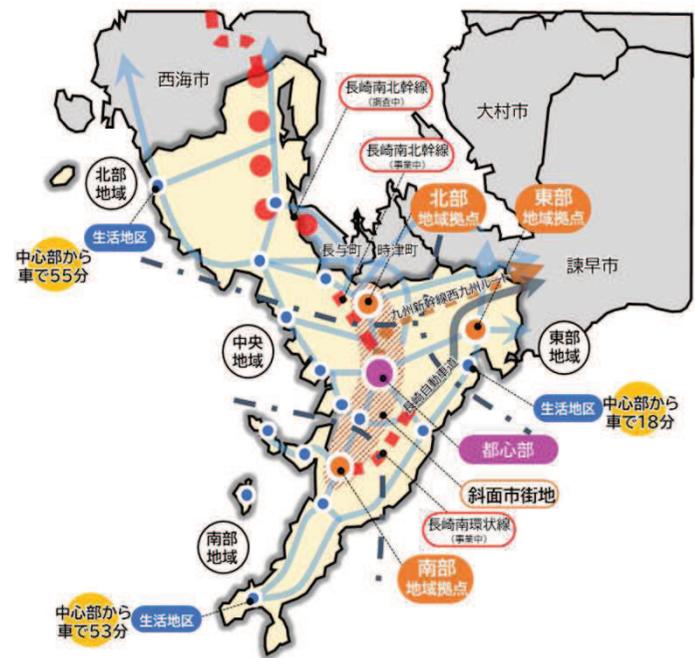
#### 豊富な観光資源



#### 広域交通網の充実



#### 各拠点につながりがある



公共交通徒歩圏人口カバー率

市内全域で大容量高速のデータ通信が利用可能

区分	カバー率(%)	
全国平均	41	
政令市	74	
地方都市圏	概ね50万人	62
	概ね30万人	48
<b>長崎市</b>	<b>80</b>	

出典：長崎市「立地適正化計画」

### 長崎市のまちの可能性

国内外の多様な人々と  
交流・活動できる！

多様な暮らし・過ごし方を  
選択できる！

様々な場所で生活サービスを  
享受しやすい！

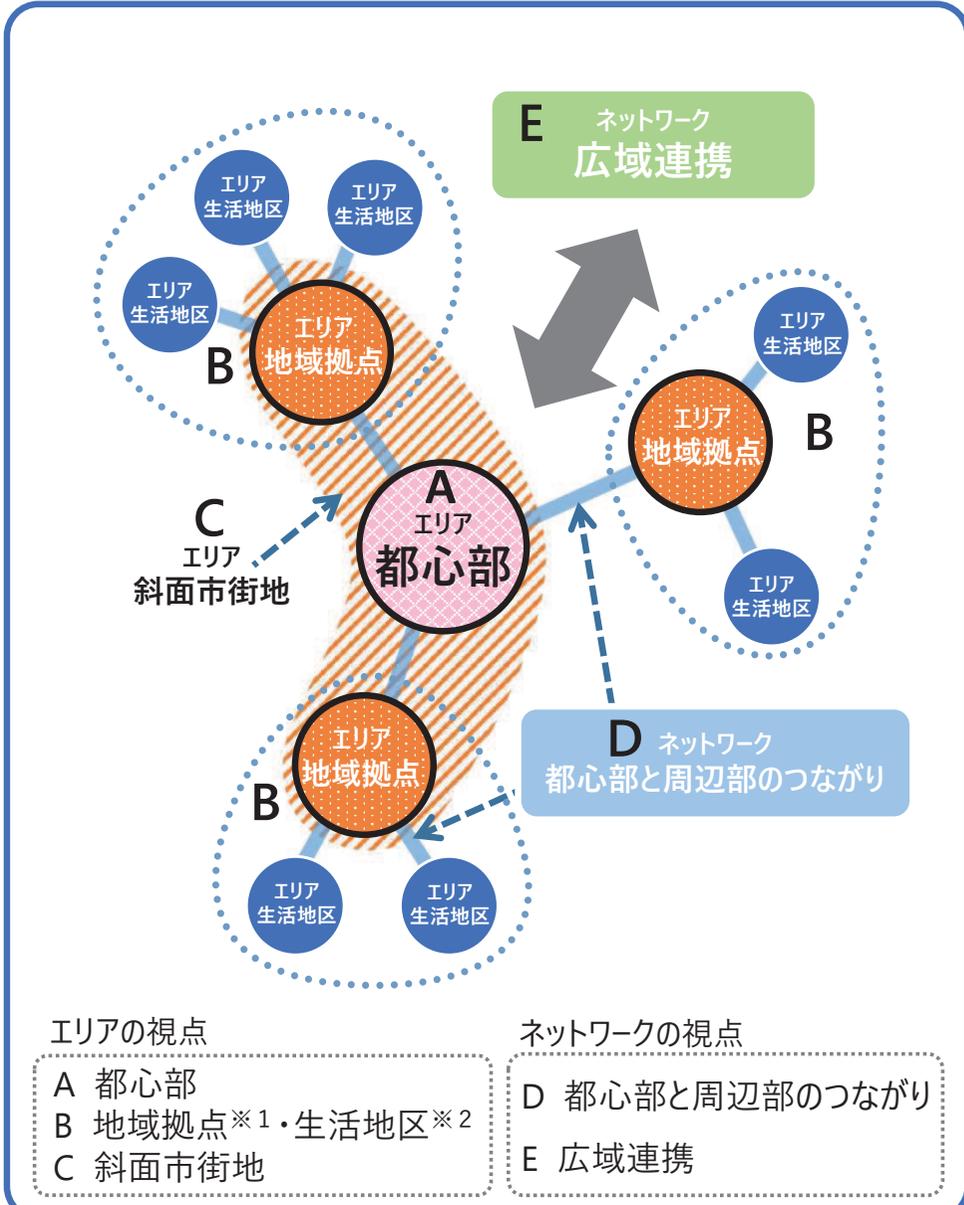
【市全体】まちづくりのテーマ 長崎市がもつ強みや可能性を最大限活かした取組みをしていく！

多様な魅力が多くの人・企業をひきつけ、長崎独自の暮らし・過ごし方を選択でき、だれもが安全・安心に暮らせる長崎づくり

### 3-2：みらいの長崎に向けて

みらいの長崎に向けた、エリア・ネットワークの視点ごとのまちづくりのテーマ

▼ 将来都市構造を踏まえ、エリア・ネットワークの視点ごとに5つのテーマを設定



※1 地域拠点：将来的にも都心部・都心周辺部を補完する商業・業務・行政・福祉などのサービスを担うべき地域  
 ※2 生活地区：地域コミュニティの中心であり、将来的にも公共交通により都心部・都心周辺部・地域拠点との連携を図る地区

【市全体】まちづくりのテーマ

多様な魅力が多くの人・企業をひきつけ、長崎独自の暮らし・過ごし方を選択でき、だれもが安全・安心に暮らせる長崎づくり

- A 都心部** 人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり
- B 地域拠点生活地区** 豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり
- C 斜面市街地** 眺望の良さや静かな環境などの魅力を感じ、斜面地ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり
- D 都心部と周辺部のつながり** だれもが円滑に移動でき、必要な生活サービスを受けられるネットワークづくり
- E 広域連携** 広域で連携しながら、観光客や働く人、住む人を呼び込むネットワークづくり

エリアの視点  
ネットワークの視点